

二〇一八年は僕にとっても充実した年だった。また、災害などでいろいろな経験をもした年だった。

学校ではとてもクラスに恵まれ、友だちも増えた。部活も三年生が引退して二年生が中心となりとても不安だったが、大会で優勝することができた。様々な問題や危機に直面したが、自分達が部活の中心となり、僕もとてもやりがいを感じるようになった。

一方で、六月には震度六弱の地震を経験した。停電などもおこって不安でたまらなかったことを覚えている。七月には記録的豪雨、九月にはものすごい勢力の台風も上陸して僕が住んでいる市の一部も避難勧告や大きな被害を受けた。

こうした災害での経験で分かったことは、自分が思っている以上に自然災害は怖いことだ。人間にはどうしようもないことなので、日ごろから防災用品を準備したり、正しい情報をみわけたりしていくことが大切だと思った。

二〇一九年も何が起こるか分からないのでしっかり準備をしていくとともに、受験生なので、勉強にも今まで以上に励んでいこうと思う。

※無断転載禁止